

ブルーホワイトカーバイドバー クリスクロスの使用感について

ブルーホワイトカーバイドバー クリスクロス

Customer Information



新潟県
新栄町歯科医院

佐久間 利喜 先生

私が日々の臨床に於いて、不適合補綴物の除去に用いるカーバイドバーに求めることは、切削効率と耐久性、経済性であり、患者さんが求めることは振動による不快感が少ないことであると考えている。今回、ブレードが独特のピラミッド性状であるブルーホワイトカーバイドバー クリスクロス(以下、クリスクロス)の使用感について述べたい。

メタルクラウンやポーセレンクラウン除去の際、ファーストタッチでバー先端が折れてしまい、やり直しを余儀なくされた経験を皆様お持ちだと思ふ。また、バーの破折は患者さんにとっても危険を伴う。クリスクロスはその独特のピラミッド性状のブレードにより、低速回転でのファーストタッチは振動がとてまもなく、なめらかな切れ味で補綴物を切断していく。5倍速エンジンよりもタービン使用時の方が、その感覚が顕著である。主観であるが、耐久性も他社製品と同等かそれ以上に感じる。

経済性に関しては、標準価格である1本700円とすると、保険診療での単冠除去では採算が取れない。ブリッジの除去、あるいは自費の補綴物の除去用として使用すれば、術者、患者さん共にストレスのない快適な治療ができるのではないだろうか。

数ある補綴物除去バーの選択肢の一つとして、クリスクロスを検討する余地は十分あると考える。



1 ストレートドームタイプを使用したメタルクラウンの除去。



2 なめらかな切れ味で補綴物を切断する。



3 切削効率に優れ、振動も少ない。



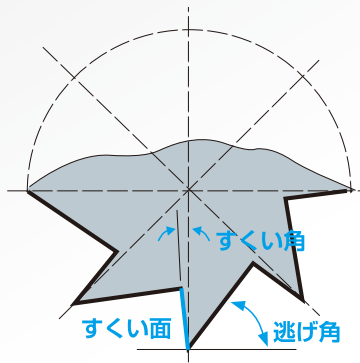
4 ストレートドーム及び、テーパードームより症例に合わせて選択する。

●ブルーホワイトカーバイドバーの特徴

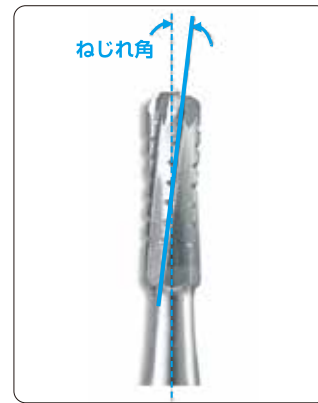
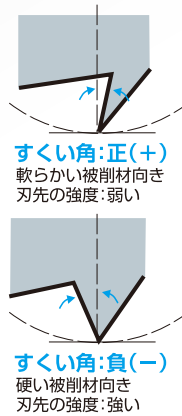
カーバイド製法	・より高い強度 ・鋭く耐久性のある刃先
バーの製造技術	・バラつきの無い、一貫した製品
ユニークな幾何学形状の刃と構成	・スピーディーで効率的な切削と、扱いやすいコントロール性
高い品質	・高い強度 ・一貫した性能と特性 ・ISO規格
豊富な製品群	・用途に応じた様々なラインナップ

●優れた作業部の形状

ブルーホワイトカーバイドバーは歯質や金属等、対象物に合わせた適切な**すくい角**と**ねじれ角**が付与されています。歯科専用にデザインされておりますので、歯科領域では工業用のバーに比べて切削効率に優れ、また、対象物に合わせた設計の刃先は耐久性に優れています。



※すくい角とは切削抵抗や切削片の排出、発熱や耐久性に影響する重要な刃先の角度です。



ブルーホワイトカーバイドバー クリスクロス / ポーセレン・金属リムーバルバー

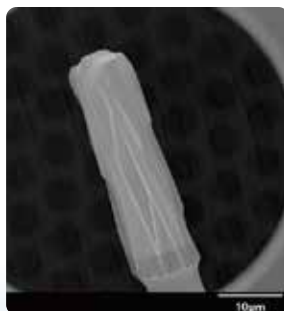
ピラミッド型でユニークな幾何学模様の作業部は、ポーセレンや金パラ等の硬い対象物を、バリバリとその粗い目で効率的に切削します。

ストレートドームタイプとテーパードームタイプがあります。

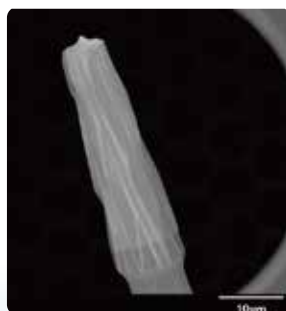
FGタイプ。全長: 19mm



最大使用回転数: 300,000回転/分以下



2158(ストレートドーム)のSEM像



2171(テーパードーム)のSEM像

一般医療機器 歯科用カーバイドバー 医療機器製造販売届出番号: 27B1X00039109500

ストレートドーム

品目コード	2157 2158
作業部 mm	3.7
最大径 mm	1.0 1.2
刃数	8×7
標準価格	1本 700円

テーパードーム

品目コード	2170 2171
作業部 mm	3.7
最大径 mm	1.0 1.2
刃数	8×7
標準価格	1本 700円